〔令和8年度　品川区立伊藤小学校〕学校経営基本構想図

品川区教育委員会の教育目標

- ○ 豊かな心を育み、人権を尊重するための教育の推進
- ○ 確かな学力の育成
- ○ グローバル社会における人材の育成
- ○ 学校・家庭・地域の連携・協働による教育力の向上
- ○ 生涯学び、活躍できる環境の整備

伊藤小学校　教育目標

- ○ よく考える子
  → 自分の考えをもち、獲得した知識やスキルを積極的に活用したり判断したりする。
- ○ 人を思いやる子
  → 自分の命の大切さを知り、友達の存在を認め、互いに高めようとする。
- ○ 健康で粘り強い子
  → 心身の健全な成長をめざし、自分のめあてに対して粘り強く努力する。

保護者・地域の期待

- ○ 基礎的・基本的な学力の定着
- ○ 思考力・判断力・表現力の育成
- ○ 豊かな心の育成
- ○ 心身ともに健康な体の育成

個人と社会のウェルビーイングを実現するための子どもの資質･能力の育成

開校90周年の歴史と伝統を引き継ぎ、「輝く子ども、輝く教職員、輝く伊藤小学校」を目指し、保護者･地域と一体となって、心豊かな子どもを育成する学校

目指す学校の姿

輝く子ども
- ○ 友達、先生、学校が大好きと感じる
- ○ 自分や友達を大切にする
- ○ 自分のよさに気付き、そのよさを発揮する
- ○ 伊藤小学校で学ぶことを誇りに思う

輝く教職員
- ○ 子どもに愛情を注ぎ、成長に喜びを感じている
- ○ 一丸となって課題解決に立ち向かう
- ○ 教育者のプロとしての自覚をもつ
- ○ 伊藤小学校の教師であることに誇りをもつ

輝く伊藤小学校
- ○ 「健康」「安全」を第一に考える
- ○ 保護者・地域から愛され、信頼される
- ○ 学力や生活習慣を身に付け、ルールを守る
- ○ 地域と密着し、子どもを温かく見守る

学校の基本姿勢

- ○ 「健康・安全を最優先に」の精神で、子どもの命や健康を守る教育を目指す
- ○ かけがえのない我が子を思う気持ちになって、最善の努力をする
- ○ 伊藤小学校のすべての子ども達を、すべての教職員で育てていく

教職員の基本姿勢

- ○ すべての教職員で児童を育てる
- ○ 教師のプロとしての自覚をもつ
- ○ 子どもにとってプラスの改善をする
- ○ 授業力向上の取組を充実させる
- ○ 確実に職務を遂行する
- ○ 問題・課題を迅速に共有する

学習指導の５項目

- ○ 授業の開始時刻(チャイム着席)を守り、始めと終わりにあいさつをします。
- ○ 先生に指名されたら、「はい」と返事をして発言をします。
- ○ 丁寧な言葉遣いで話します。授業以外でも状況に応じた言葉遣いをします。
- ○ 先生や友達の話は、よい姿勢で最後までしっかりと聞きます。
- ○ 休み時間中に次の授業の準備をします。そのためにも、忘れ物はしません。

目指す児童像

知識やスキル、態度および価値観を身に付け、自ら目標を決めて学び、責任をもって行動する力を発揮することで、自分の個性を輝かせながら集団や社会に貢献できる児童

生活指導の５項目

- ○ 自分からすすんであいさつをします。
- ○ 自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めていきます。
- ○ 登校時刻や下校時刻等、時間をしっかり守ります。
- ○ 係活動や委員会活動等にすすんで取り組みます。
- ○ 身の回りを常に整理整頓し、過ごしやすい環境を維持します。

学校教育目標を達成させるための具体的な方策

質の高い教育活動
- ○ 学習規律の徹底　○ 特別支援教育の充実
- ○ しながわウェルビーイング教育の更なる推進
- ○ 校内研究の充実　○ 基礎・基本の習得
- ○ 思考力・判断力・表現力の育成
- ○ 45 分間を大切にする指導
- ○ 市民科の取組　○ 体力向上に関する取組

予防的な生活指導
- ○ 生活規律の徹底
- ○ いじめのない学級づくり
- ○ 「伊藤小のきまり」に基づく指導
- ○ あいさつの重視
- ○ 整理整頓された教室環境
- ○ いじめ防止基本方針に基づいた対応

一丸となった学校運営
- ○ 危機意識をもった学校体制での課題解決
- ○ 保護者が相談しやすい環境
- ○ 服務事故防止と服務の厳正
- ○ 校区教育協働委員会による学校評価

ＣＳを基盤とした役割
- ○ 品川コミュニティスクールの設置
- ○ 校区教育協働委員会
- ○ いとう CS ボランティア
- ○ 地域教育力の活用